

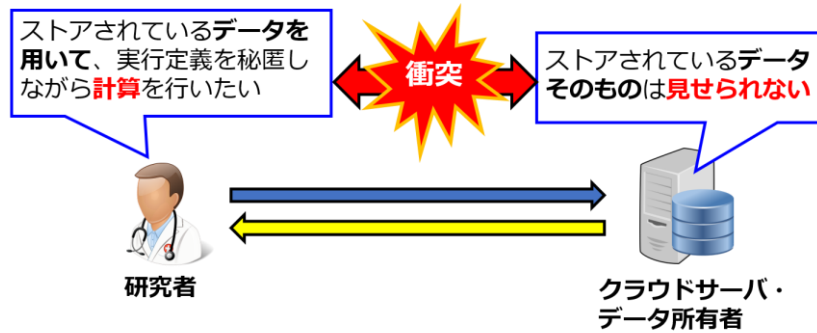
2019年度未踏IT人材発掘・育成事業 生命情報解析向けインタプリタを搭載した秘密計算用クラウド BI-SGX: Analyzing, only better.

早稲田大学大学院 櫻井 碧

■ 生命情報解析で用いるゲノムデータは、様々な個人情報を含んでおり、漏洩すると**非常に危険**

- 人種
 - 疾患
 - 予想される寿命
 - 体質
- etc...

■ 一方で、こういった解析方法のニーズがある



■ Intel SGXが生成するRAM上の保護領域 (Enclave)上でインタプリタを駆動させる事により、簡単にSGXのハイパフォーマンスな保護機能の恩恵を受けた**秘密計算クラウド「BI-SGX」を実現**

▶ ストレージ機能・秘密計算機能の双方を提供

■ 独自言語「Qliphoth」により、SGX公式SDKを用いた場合の**10000倍**の負担削減が可能



```
status = sgx_ra_proc_msg2(ra_ctx, eid,
sgx_ra_proc_msg2_trusted,
sgx_ra_get_msg3_trusted, msg2,
sizeof(sgx_ra_msg2_t) + msg2->sig_rl_size,
&msg3, &msg3_sz);

status = sgx_rjndael128GCM_decrypt(&sk_key,
(uint8_t*)data_cipher, cipherlen,
data_plain, p_iv, p_iv_len, NULL, 0,
&tag_t);

public sgx_status_t encrypt_store_status(
sgx_ra_context_t context,
size_t store_flag,
[in, out, size=12]uint8_t *p_iv,
[in, out, size=16]uint8_t *tag,
[in, out, size=10000]uint8_t *result_cipher,
[out]size_t *res_len);

:
```

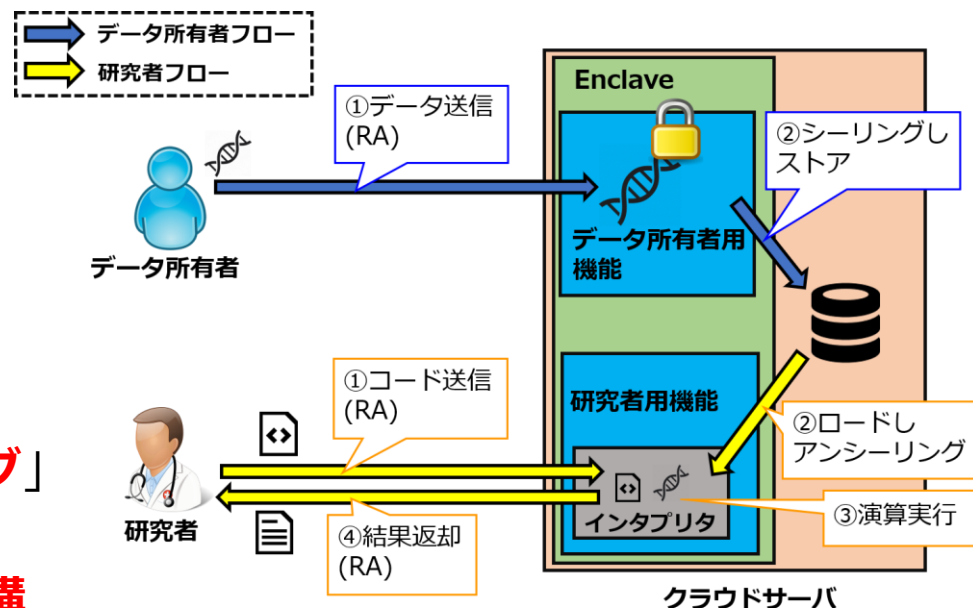
SGX公式開発ライブラリ (40000行)

```
func main()
a = edist("dataset0")
println "result: ", a
end
```

Qliphoth (4行)

アウトプットプライバシーを保護しつつ、劇的な負担削減を実現

■ Enclave内の**インタプリタ**と、SGXのセキュリティ機能をフル活用した**周辺機構**で**強固なセキュリティ**を実現



▶ 厳重な遠隔認証プロトコル

「**リモート・アテストーション**」

▶ よりデータの**完全性**を確実に担保できる**暗号化処理「シーリング」**による**データ保護**

▶ 大容量データ向けの**データ分割機構**

■ 生命情報解析向けではあるが、より**一般的・汎用的**な処理の実行も**可能**

■ 一部**パブリッククラウド**上での**駆動も可能**である

```

func is_prime(n)
  return 0 ? n < 2
  return 1 ? n == 2
  return 0 ? n%2 == 0
  i = 3
  while i*i <= n
    if n%i == 0
      return 0
    end
    i = i + 2
  end
  return 1
end

func main()
  for n = 1 to 1000
    if is_prime(n)
      print n, " "
    end
  end
  println ""
end
    
```

素数計算プログラム

クラウドサービス名	SGX対応のマシンがあるか?	SGXが有効化されているか?	BI-SGXが利用可能か?
Microsoft Azure	○	○	○
IBM Cloud	○	○	○
Alibaba Cloud	○	○	○
AWS	○	×	×
Google	○	×	×

より汎用的かつ大規模な秘密計算基盤の実現可能性がBI-SGXの今後の展望